



UP DATE



■ 非開削技術講習会

■ 委員会活動

(1) 企画委員会

6月開催予定の企画委員会は、新型コロナウイルスによる影響で中止とし、メールによる審議としました。審議では第12回通常総会付議案件について報告し、今年度のJSTT事業方針案について確認を行いました。

(2) 編集委員会

第8回編集委員会を4月6日に予定していましたが、新型コロナウイルスによる影響で当日の集合会議を中止し、メールによる審議を行いました。審議では2019年度機関誌優秀記事の審査について審議が行われ、従来の個別審査から、複数委員による多面審査を行うことが決定されました。また、審査会において、最優秀賞、優秀賞2件の選定を行いました。

(3) 地下探査委員会

4月に予定しておりました地下探査委員会を新型コロナウイルスによる影響で中止としました。

(4) 工法ナビゲーションシステム運営委員会

3月末に開催を予定しておりました同委員会について、新型コロナウイルスによる影響で中止し、メール等による審議を行いました。

審議では、4月よりリリースされた、管路更生セクションの機能確認について行われ、委員による検証テストを実施。デバッグを行い4月1日にリリースしました。

(5) HDD誘導式水平ドリル工法委員会

6月に予定しておりました地下探査委員会を新型コロナウイルスによる影響で中止としました。

■ 2019年度 非開削技術表彰のご紹介

例年、非開削技術に関する研究発表および機関誌技術投稿において顕著な成果を収めた方を、総会終了後に表彰をおこなっております。今年は、新型コロナウイルスによる影響で今年は表彰式を中止となりましたので、こちらで表彰者をご紹介します。

表彰は、昨年度4回発刊しました当協会機関誌「No-Dig Today」技術特集報告30編のうち、編集委員会にて選出された優秀賞、および昨年11月19日に新宿角筈ホールで開催した技術研究発表会において、技術委員会にて選出された優秀発表者となります。

1. 機関誌「No-Dig Today」技術報告 表彰

【最優秀賞】

109号

中川原 浩二 様 (アイレック技建(株))

「マレーシアにおけるエースモール工法の岩盤
施工事例」

【優秀賞】

110号

松本 譲司 様 (株協和エクシオ)

「φ2200mm泥濃式推進工法としての国内最長且つ
超近接施工実施報告について」

2. 第30回 非開削技術研究発表会 表彰

【最優秀賞】

稲垣 裕亮 様 (株NJS)

「UAVを活用したインフラ点検の有効性検討および
事例報告」

【優秀賞】

戸矢 貴幸 様 (東京電力パワーグリッド(株))

「地中砂埋めトラフに収容された電力ケーブルの非
開削撤去工法の開発」

【優秀賞】

森田 智 様 (株アルファシビルエンジニアリング)

「推進工法の新たな用途について～ボトムパイプ推
進工～」

なお、表彰状等については7月1日以降、適宜、受賞者の皆様へお渡しする予定です。